

第3回「兵庫県特定外来生物対策本部会議」

次 第

日時：令和8年2月2日(月) 10:30～11:00
場所：県庁2号館5階庁議室（オンライン併用）

- 1 令和7年12月補正予算の進捗状況
- 2 令和8年度取組（案）の概要

【出席者】

	所属・職名等	氏名
本部長	知事	齋藤 元彦
副本部長	副知事	服部 洋平
本部員	農林水産部長	守本 真一
	環境部長	福山 雅章
	土木部次長	家永 薫
	神戸県民センター長	内藤 良介
	阪神南県民センター副センター長	金澤 友道
	阪神北県民局長	小野山 正
	東播磨県民局長	野北 浩三
	北播磨県民局長	成田 徹一
	中播磨県民センター長	井野 健三郎
	西播磨県民局長	城下 隆広
	但馬県民局県民躍動室 県民協働参事	永井 秀明
	丹波県民局長	糟谷 浩行
	淡路県民局長	川井 史彦

	所属・職名等
準本部員	総務部・財務部総務課長
	企画部総務課長
	県民生活部総務課長
	危機管理部総務課長
	福祉部総務課長
	保健医療部総務課長
	産業労働部総務課長
	まちづくり部総務課長
	企業庁総務課副課長
	病院局企画課副課長
	教育委員会総務課副課長兼広報班長

(事務局)

	所属・職名等
事務局員	事務局長 環境部次長
	事務局次長 環境部自然鳥獣共生課長
	環境部自然鳥獣共生課副課長
	環境部自然鳥獣共生課主査
	環境部自然鳥獣共生課主任
	環境部自然鳥獣共生課副主任

1 令和7年12月補正予算の進捗状況

令和7年12月補正予算の進捗状況

地域部会での検討結果に基づき、河川から農地への侵入の防止や、農地から他所への拡散の防止など、直ちに対策が必要な箇所について、12月補正により予算措置、対策実施中

地域	対策箇所	手法	費用 (千円)	進捗状況
東播磨	新仏池	遮光シート敷設	10,000	2月中旬～3月上旬に着手予定
	瀬戸川	遮光シート敷設	13,000	1月下旬から着手
	西川・権現川	河川内の抜き取り	20,400	2月中旬～3月上旬に着手予定
	喜瀬川	河川内の抜き取り	9,600	2月中旬～3月上旬に着手予定
北播磨	西脇市	農地内（畦畔）に除草剤散布	1,000	3月に着手予定
合計			54,000	



新仏池



瀬戸川



西川・権現川



喜瀬川



西脇市

本資料は予算要求の途中段階で作成したものであり、
今後の協議等により金額は変動の可能性があります

2 令和8年度取組(案)の概要

対応方針

■ナガエツルノゲイトウ

① 各地域で必要となる対策の早期実施

各地域で実施する対策については、地域部会での検討結果に基づき、生態系、農林水産業等への被害が懸念される箇所等、必要となる対策を早期に実施

■クビアカツヤカミキリ

② 防除指針の策定

各地域のケースに応じた対応を推進するため、分布調査を実施の上、防除指針を策定

③ 防除実施にあたっての資材、専門性及びマンパワーの確保

地域における防除対応に必要な資材の配置、職員を対象とした研修実施や専門家派遣、早期対策を実現するため必要なマンパワーを確保

■共通

④ 効果的な防除手法の確立

防除手法の確立のための実証事業の実施

⑤ 地域での防除実施を補完する各種取組の実施

県民からの通報制度の活用促進や、県民ボランティアによるモニタリングの実施、人員体制面の充実等について検討

⑥ 中長期的な対応を可能とする体制確立

特定外来生物対策については、財源や組織・人員面を含め、中長期的な取組が可能となるよう、必要となる規程整備等を実施

【ナガエツルノゲイトウ】

①各地域で必要となる対策の早期実施

繁茂箇所の下流に農業用取水口がある河川・ため池や農地内で繁茂している箇所等、農業被害が生じる可能性のある箇所について、地域部会での検討結果を踏まえて優先的に防除を実施

○ 地域における防除の実施 【60,000千円（概算）】

新規

地域	対策箇所	手法
神戸	こうとりばいけ 小鳥喰池	遮光シートメンテナンス等
東播磨	新川池	オイルフェンス設置等
	寛政池	流出入防止ネット等メンテナンス
	加古大池	遮光シートメンテナンス
北播磨	西脇市	遮光シート設置 農地内（畦畔等）に除草剤散布

【クビアカツヤカミキリ】

②防除指針の策定

③防除実施のための資材、専門性及びマンパワーの確保

【13,000千円（概算）】

課題	対応	
発生状況の共有と 防除指針の策定	各地域のケースに応じた対応を推進するため、 分布調査を実施の上、防除指針を策定	新規
防除資材の県民局等 への配置	地域における防除対応に必要な資材を事前に 配備	継続
防除実施にあたっての 専門性の確保	防除にあたっての専門家の派遣 等	継続
防除実施にあたっての マンパワーの充実	クビアカツヤカミキリの分布が年々拡大して いる現状を踏まえ、早期対策を実現するため、 必要なマンパワーを確保 →初期防除に係る外部委託を実施	新規

【共通】

④効果的な防除手法の確立

○実証事業等の実施

【15,000千円（概算）】

地域	実施箇所	内容	
クビアカツヤカミキリ			
神戸 阪神北	神戸市、川西市	果樹園におけるクビアカツヤカミキリ防除体系実証 〔 封じ込めや被害低減を目的とした、生産地域で取り組む新たな防除体系の確立に向けた実証を実施 〕	新規
ナガエツルノゲイトウ			
北播磨	多可町	有機農業・多毛作地域における防除実証 〔 農地での防除手法として、①有機農業で利用できる食酢等を活用した低密度管理、②多毛作地域での栽培期間中の除草剤体系処理について実証を実施 〕	新規
淡路	南あわじ市志知等	農業用水路における防除技術実証等 〔 農業用水路における防除手法として、①法面被覆工法、②水路の目地詰め工法の実証を実施 〕	新規
環境DNA分析を用いたナガエツルノゲイトウの早期発見・生育状況調査 〔 河川水中に含まれるナガエツルノゲイトウのDNAを検出することで、水系ごとの大局的な生息状況を調査し、早期発見・早期対策の実現に効果的であるか実証 〕			新規

【共通】

⑤地域での防除実施を補完する各種取組

○事前の被害予防対策やボランティア制度の創設、職員に対する研修会など、各種取組を実施

【5,000千円（概算）】

事業名	趣旨	取組内容	
桜の木を守ろうプロジェクト	サクラやウメ等の名所において、樹木を守るための取組を強化	クビアカツヤカミキリの侵入から守るための事前の被害予防対策を実施 (R8.3.7プレ実施。R8年度本格展開(県下10地域))	新規
県・市町職員対象研修会	県・市町職員の特定外来生物に対する専門的知識の獲得を目指し開催	特定外来生物(特にナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリ)の見分け方、特性、防除対策等に係る研修	継続
特定外来生物発見通報の推進	通報回数上位者等への通報インセンティブの付与	通報フォームからの確定通報件数の上位20名に対してデジタル商品券等を進呈	新規

【参考】令和7年度実施取組

事業名	趣旨	取組内容
ひょうご生物多様性シンポジウム	多様な主体による特定外来生物の拡大防止、自然環境保全の取組を推進	県内高校生や大学生、企業、NPO等を対象としたシンポジウムを開催、普及啓発の強化 (R7.12.19実施)
Hyogoクビアカツヤカミキリ見張り隊	クビアカツヤカミキリの早期発見、防除	クビアカツヤカミキリの発見、防除を行うボランティアを登録 (R7年度内登録実施)

【令和9年度以降の対応】

特に繁殖力が高く、被害拡大の恐れが高いナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリについて、防除手法が確立し、被害拡大が収束するまでの間、県が主体となって防除を実施するとともに、防除手法確立のための実証を実施